

Professional Skills
Instruction Materials
Consortium

法実務技能教育教材 研究開発コンソーシアム

法実務技能教育教材研究開発コンソーシアム(通称 PSIM コンソーシアム)は模擬裁判やロイヤリングなどの法実務技能教育の教材を共同で開発し利用するとともに、教育人材の養成プログラムや教育方法論の開発を推進するために、全国から多数の法科大学院および法曹養成に関わる組織や団体等が参加している組織です。

コンソーシアムの目的

模擬裁判やロイヤリングなどの
実務技能教育教材の開発・提供

実務技能教育の教育方法論の開発

実務技能教育の教育者養成プログラムの開発



Professional Skills
Instruction Materials
Consortium



詳しくは公式サイトへ

お問い合わせはこちら

法実務技能教育教材研究開発コンソーシアム

事務局 〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院法学研究科

TEL&FAX 052-788-6234 Mail psim@law.nagoya-u.ac.jp

Web <https://psimconsortium.law.nagoya-u.ac.jp>



主な活動

イベントの開催

総会・運営委員会

PSIM コンソーシアムでは、総会を年1回、運営委員会を年2回開催し、コンソーシアムの運営事項についての協議を行っています。



PSIM セミナー

過去のセミナー
一覧はこちら



講演会・シンポジウム

日本国内の法科大学院および法曹養成に関わる組織や団体向けのセミナーを開催しています。また、欧米やアジアの法廷技術の研究機関等への研究者の派遣および同機関からの研究者の招聘を行い、相互の情報交換に努めています。

NITA セミナー

学術交流協定を結んでいるNITA (National Institute for Trial Advocacy, USA) より講師を招き、セミナーを開催しています。参加者はこうした参加型研修から多くを学んでいます。



実践的教材の作成

シナリオ教材・映像教材

PSIM コンソーシアムでは、参加各校の協力により、これまでに多数の法実務技能教育教材を作成して参りました。これら教材を用いた授業の映像記録などを蓄積するとともに、授業の進行を解説したティーチング・マニュアル等についても作成しています。



教材数

民事模擬裁判関連	34件
刑事模擬裁判関連	28件
民事ロイヤリング関連	47件
刑事ロイヤリング関連	1件
映像教材 (DVD 等)	11件

※2021年4月現在、数字はいずれも修正・改訂作業中のもの、ならびに作成中のものを含む。

オープン教材

オープン教材は
こちら



これまでに蓄積した法実務技能教育教材の一部をオープン教材として、PSIM コンソーシアム参加校以外の法科大学院および法曹養成に関わる組織や団体等でご利用いただけるようになりました。

ツールの開発

DRS (Digital Recording Studio)



「DRS」は刑事法廷教室と民事法廷教室それぞれに、裁判官席、検察側席、弁護側席、証言台を撮影する4台のハイビジョンカメラを設置し、法廷教室内のボタン一つでそれらすべての映像を4分割に録画、再生が可能となるシステムです。

PSIM Webcas (PSIM Webcast system)

「PSIM Webcas」はZoom、Teamsなど任意のWeb会議システムを利用して、法廷の映像を配信するシステムです。

出版・印刷物等

書籍・DVD

書籍・DVDのほか「PSIM セミナー」などの講演会の記録も参加大学の紀要にて出版しています。



PSIM News

PSIM コンソーシアムでは年に2回、活動の記録等を掲載した法実務技能教育教材研究開発コンソーシアムニューズレター（通称：PSIM News）を発行しています。

